



User Manual

ArtGate Pro



Bidirectional DMX<->ArtNet/sACN converters

AGP-5-4DE • AGP-5-8DE



安全上のご注意

- ご使用前に、この『安全上のご注意』をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので必ずお守り下さい。

◆次の表示区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、傷害を負う可能性が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される内容です。

◆次の絵表示の区分はお守りいただく内容を示しています。

 禁止	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
 強制	このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

- ⊗ **意図した目的以外に使用しないでください。**
火災、感電、故障の原因になります。
- ⊗ **機器に強い衝撃を与えないでください**
火災、感電、故障の原因になります。
- ⊗ **分解、改造をしない**
火災、感電、故障の原因になります。
- ⊗ **金属類を差し込まない**
隙間などから金属類を差し込んだりしないで下さい。
火災、感電、故障の原因になります。
- ⊗ **濡らさない**
水などの液体が入ると発熱、火災、感電、故障の原因になります。
- ❶ **A Cコンセントは確実に差し込む**
コンセントの差込が不完全だと発熱、火災、感電の原因になります。
- ❶ **コネクタは確実に差し込む**
コネクタの差込、締め付けが不完全だと発熱、火災、感電の原因になります。
- ⊗ **A Cコードを傷つけない**
コードを無理に曲げたり、加工したり、引っ張ったり、重い物を乗せたりしないで下さい。
- ❶ **異常が起きたときは**
万一、発煙、異臭、異常音などがあった時は直ちにA Cコンセントを抜いて販売店にご連絡下さい。そのまま使用すると火災、感電、故障の原因になります。

注意

- ⊗ **煙や湯気が当たる場所に置かない**
火災、感電、故障の原因になります。
- ⊗ **湿気やほこりの多い場所に置かない**
火災、感電、故障の原因になります。
- ⊗ **不安定な場所や振動の多い場所に置かない**
落ちたり、倒れたりするとけが、故障の原因になります。
- ⊗ **A Cコンセントから抜くときはプラグをもって抜く**
コードを引っ張るとコードが傷ついて火災、感電、故障の原因になります。

Contents

本機について	1
はじめに	1
操作方法	2
主な機能	3
・ 出力モード設定	3
・ 入力設定	4
・ スタンドアロン機能	4
・ トリガー入力	4
・ イーサネット接続	5
・ DMX接続	5
Web設定	6
・ Main - 主な設定内容-	5
・ Advanced --高度な設定-	8
・ Network -ネットワークの設定-	10
・ Profiles -プロフィール-	11
・ Firmware -ファームウェアの更新-	12
テクニカルメンテナンス	13
仕様	13

本機について

ArtGate Proは、ArtNetやsACNといったネットワークプロトコルを、照明器具の制御プロトコルであるDMX512に変換する機能を備えたコンバータです。4または8個のDMXポート、LANインターフェイス、10Base-Tまたは100Base-TモードのイーサネットLANを介してDMX512データストリームを送受信します。

ArtNetおよびsACNプロトコルとの互換性により、ArtGateデバイスを他メーカーの異なるデバイスのネットワークで使用することができます。

ArtGateデバイスは、標準的なブロードキャストデータ転送であるArtNetだけでなく、ローカルネットワークやインターネット上でのポイントツーポイントデータ転送にも対応しています。デバイスのアドレス設定（名前、サブネット、ユニバース）やネットワークの設定（IPアドレス、サブネットマスク、UDPポート）、DMXワークショップなどのArtNetネットワーク用の標準ソフトウェアツール、Webベースのインターフェイスの使用が可能です。

Webインターフェイスでは、ArtNet規格ではカバーされていないデバイスの高度な設定を変更することが可能です。

- ・ 各ポートのDMX信号の方向とマージモード
- ・ DMX512信号のタイミング
- ・ ArtNetネットワークでのデータストリームの送受信モード。

電源は、AC（90～250V、50/60Hz）、またはPower-over-Ethernet技術を使用したイーサネットから供給されます。

はじめに

ArtGateデバイスは、事前にWebインターフェイスでの設定が必要です。（→Web設定 P.6）

デバイスの電源を入れると、最後に保存された設定に基づいて動作します。WEBインターフェイスでArtGateの設定を閲覧しても、設定が保存されるまでは動作には影響しません。変更が保存されると、電源を切ることなく、すぐに新しい設定が適用されます。各DMXポートの状態は、対応するステータスLEDで表示されます。

入力モードでは、有効なDMX入力信号がある場合は、ポートステータスLEDが安定して点灯し、DMX入力信号が無効またはない場合はゆっくりと点滅します。

出力モードおよびループモードでは、ポートステータスLEDは、出力されるデータがないときに点灯し、新しいDMXデータが送信（更新）されると点滅します。

オフモードでは、ポートステータスLEDは消灯します。

操作方法

1. DMXケーブルを必要なDMXポートコネクタに接続します。
2. 機器にイーサネットケーブルを接続します。
3. 電源ケーブルを接続します。
4. 電源ケーブルのプラグを電源コンセントに接続します。
5. 起動後、ポートステータスLEDがポートの状態と方向を示します。また、数秒後にイーサネットステータスLEDが点灯します。
6. ArtGateデバイスと同じネットワークに接続されたコンピューターで、デバイスのWebインターフェイスを開く。
7. ネットワーク設定タブを開きます。
8. IPフィールドにはデバイスのアドレスが、サブネットフィールドにはネットワークマスクが表示されます。必要に応じて、IPフィールドとサブネットフィールドに必要なネットワーク設定を入力します（デフォルトでは、デバイスIPサブネット：**2.x.x.x**、サブネット：**255.0.0.0**に設定されています）。“**Save settings**”をクリックすると、新しい設定が有効になります。
9. 機器のその他の設定（ポートの方向、ポートごとのサブネットとユニバースなど）を行います。
必要に応じて、機器の名前やネットワーク設定を変更し、“**Save settings**”をクリックすると、新しい設定が有効になります。
10. DMXポートのステータスLEDには、選択されたポートの構成と現在の状態が表示され、デバイスの操作が可能になります。

※Web設定詳細はP.6ページからを参照

主な機能

出力モード設定

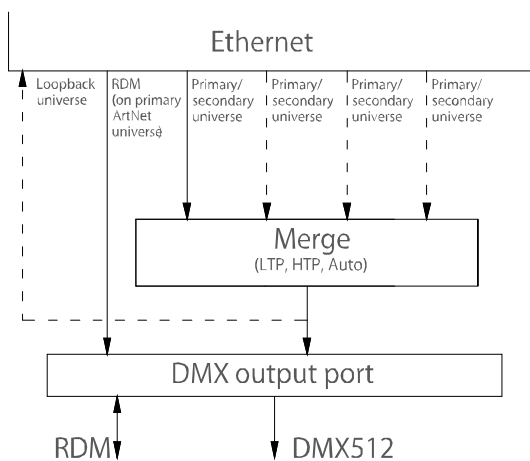
Artgateのモデルと選択されたマージモードに応じて、各ポートは最大で2つまたは4つのネットワークソースをマージすることができます。マージされたデータは、DMXポートに出力されるだけでなく、新たなユニバースとしてイーサネットへのループバックも設定可能です。

マージするには、各ポートで2つの異なるネットワークユニバース [プライマリユニバース (**primary universe** : メイン) とセカンダリユニバース (**secondary universe** : サブ)] を有効にすることができます。primary universe と secondary universe では、プロトコルが異なる場合があります (ArtNet、sACNなど)。マージするには、ユニバースが対象となるポートのプライマリまたはセカンダリである必要があります。

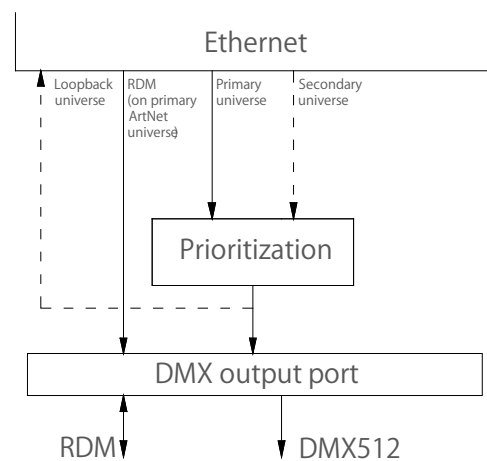
RDM機能は、ArtNetプロトコルが **primary universe** に選択されている場合にのみ、出力ポートで利用可能です。

対応するマージモード (各モードのマージと出力は**Pic1,~Pic4**を参照)

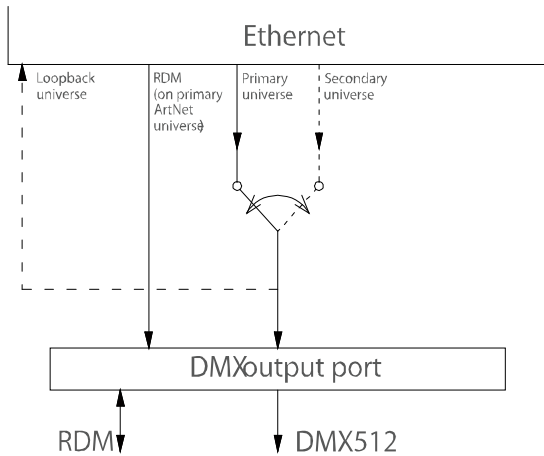
- HTP 高レベル優先
- LTP 最終レベル優先
- Auto 最後に修正されたものが優先 - スマート・マージ・モード
- Priority プライオリティタグの付いた sACNで、あるユニバースに対して最も高い信号が出力されます
- Backup メインの信号が切れた場合に指定したユニバースに切り替えたりシーンを再生します
- Trigger/XFade 接点や指定したDMXアドレスの信号により2つの入力を切り替えたりクロスフェードさせたりできます



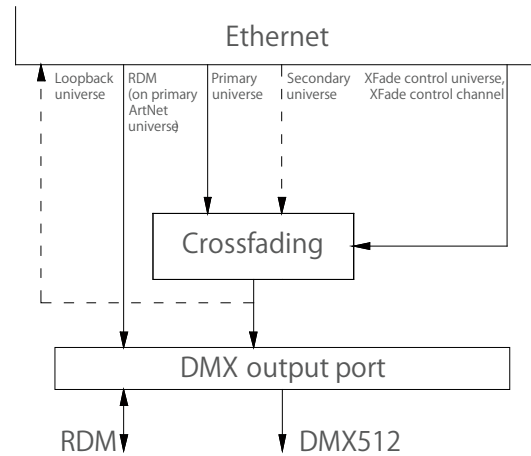
Pic.1 LTP、HTP、Autoモード



Pic.2 Priorityモード



Pic.3 Backupモード



Pic.4 Trigger、XFadeモード

入力設定

入力として設定された場合、ArtGateのDMXポートはDMX512信号をArtNet、sACN、またはその他のタイプのユニバースに変換します。入力ポートのユニバースタイプとプロトコルは、常に **primary universe** 設定から取得されます。

入力ポートは、RDMリクエストに応答することができます。デバイスの各ポートは、それぞれのRDM UIDを持っています。

スタンドアロン機能

ArtGateデバイスは、イーサネットに接続されていなくてもマージャーとして使用できます。2つ以上の入力ポートが同じユニバースプロトコル/番号で設定されている場合、それらの入力ポートからのDMXストリームはマージされ、同じプロトコル/番号の別の出力ポートに出力されません。

トリガー入力

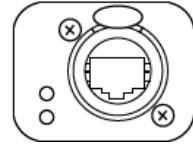
ArtGate Proにはトリガー機能が搭載されています。トリガーが作動すると、メモリに保存されている固定シーンが呼び出され、すべてのDMXポートに設定されます。トリガーは、無電圧接点入力で作動します。無電圧接点入力は、煙センサー、ボタンなどを使用するように設定できます。

各トリガー入力は、アラーム入力としても設定可能。アラームが作動した場合、デバイスは入力の無効化ではなく、再起動またはマニュアルリセットで通常の動作に戻ります。ユーザーは、使用するすべてのDMXポートにカスタムシーンを設定し、必要なトリガー用にシーンをキャプチャして保存することができます。

イーサネット接続

デバイスはRJ-45でネットワークに接続できます。コネクタサイドにはネットワーク接続の状態を示す2つのLEDがあります。

- | | |
|---------------------|------------|
| ・イーサネットが接続されていない | 両方のLEDが消灯 |
| ・ネットワークが接続されている | 上のLEDが常時点灯 |
| ・ネットワーク上でデータが送受信される | 下のLEDが点滅 |



Pic.5 イーサネット・コネクタ

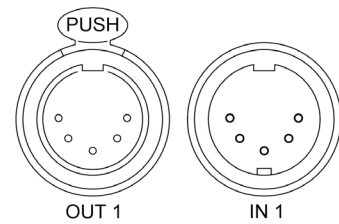
各デバイスには固有のIPアドレスとMACアドレスを持っています。デバイスのIPアドレス、サブネットマスク、その他のネットワークパラメータは変更可能ですが、この場合でもデバイスは元のIPアドレス (2.x.x.x) でpingやhttpのリクエストに対応します。したがって、新しいIPアドレスが失われた場合でも、Webインターフェイスを介して元のIPアドレスを使用してネットワーク上のデバイスにアクセスすることができます。

DMX接続

XLR 5ピンコネクタは、外部のマスターおよびスレーブ機器をDMXポートに接続するために使用します。

Fコネクタ (XLR5Pメス) が4つ付いた4portデバイス、Fコネクタが8つ付いた8portデバイスの2製品があります。どちらのデバイスも、DMXをパススルーすることができるMコネクタ (XLR5Pオス) とペアになったポートが2つあります。

各ポートには120Ωのターミネーターが内蔵されており、Webインターフェイスで有効/無効を選択することができます。



Pic.6 XLR(F)およびXLR(M)DMXコネクタ

Web設定

ArtGateデバイスは、HTTPプロトコル（TCPポート80）を使用したWebインターフェイスで、パラメータを設定することができます。

Main - 主な設定内容-

設定ページにアクセスするには、ブラウザにデバイスのIPアドレスを入力します。ArtGateデバイスのメイン設定ページが表示されます。

ArtGate Pro
Main settings

[Main](#)
[Advanced](#)
[Network](#)
[Profiles](#)
[Firmware](#)

Indication: Normal Blink Off

Device name:

Device description:

Device status: Power-on tests successful

ArtNet 4 Net address:

Port	Mode/merging	Pri. unv. protocol	Pri. unv. number	Sec. unv. protocol	Sec. unv. number	Status
DMX 1	Out/ChanXFade	ArtNet ▼	0	ArtNet ▼	1	no new DMX data
DMX 2	In ▼	ArtNet ▼	0	Disabled ▼	0	no DMX signal
DMX 3	Out/Auto ▼	ArtNet ▼	2	Disabled ▼	0	no new DMX data
DMX 4	Out/Auto ▼	ArtNet ▼	3	Disabled ▼	0	no new DMX data
DMX 5	Out/Auto ▼	ArtNet ▼	4	Disabled ▼	0	no new DMX data
DMX 6	Out/Auto ▼	ArtNet ▼	5	Disabled ▼	0	no new DMX data
DMX 7	Out/Auto ▼	ArtNet ▼	6	Disabled ▼	0	no new DMX data
DMX 8	Out/Auto ▼	ArtNet ▼	7	Disabled ▼	0	no new DMX data

www.sundrax.com

Pic.7 主な設定項目

- ・ **Indication** - DMXポートのLED表示モードを切り替えます。

Normal	現在のポートの状態に応じて表示
Blink	サーチモード
Off	LED消灯

- ・ **Device name** - デバイス名を入力します（最大17文字まで）
- ・ **Device description** - デバイスの説明を入力します（最大63文字）
- ・ **Device status** - デバイスの現在の状態が表示されます
- ・ **ArtNet 4 Net address** - ネットワーク番号を設定します（0～127、ArtNet4のみ）

- ・ **Ports** - 各DMXポートの設定とステータス表示です

Mode/merging	ポートの方向と出力のマージモード
-HTP	高レベル優先
-LTP	最終レベル優先
-Auto	最後に修正されたものが優先 - スマート・マージ・モード
-Priority	プライオリティタグの付いた sACNで、あるユニバースに対して最も高い信号が出力されます
-Backup	メインの信号が切れた場合に指定したユニバースに切り替えたりシーンを再生します
-Trigger/XFade	接点や指定したDMXアドレスの信号により2つの入力を切り替えたりクロスフェードさせたりできます
Pri. unv. protocol	Primary universeのプロトコル
Pri. unv. number	Primary universeの番号
unv. protocol	Secondary universeのプロトコル
Sec. unv. number	Secondary universeの番号
Status	ポートの現在の状態を表示

主な設定の変更内容を保存する場合は、“**Save settings**” をクリックします。

主な設定内容を初期値に戻すには、“**Set default**” をクリックします。

主な設定の保存値をリセットするには、“**Reset**” をクリックします。

Advanced – -高度な設定-

ArtGate Pro

Advanced settings

Main
Advanced
Network
Profiles
Firmware

RDM devices:

```

DMX 1 - no information
DMX 2 - no information
DMX 3 - no information
DMX 4 - no information
DMX 5 - no information
DMX 6 - no information
DMX 7 - no information
DMX 8 - no information
          
```

Start discovery
Refresh report

Advanced DMX settings:

Break duration, usec: MaB duration, usec: Data channels:

Port	Input refresh period/ smart timeout, msec	Output frame period, msec	Output data timeout, sec	Output data offset	Smart output	RDM enable	Terminator enable
DMX 1	<input type="text" value="2000"/>	<input type="text" value="23"/>	<input type="text" value="10"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
DMX 2	<input type="text" value="2000"/>	<input type="text" value="23"/>	<input type="text" value="10"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
DMX 3	<input type="text" value="2000"/>	<input type="text" value="23"/>	<input type="text" value="10"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
DMX 4	<input type="text" value="2000"/>	<input type="text" value="23"/>	<input type="text" value="10"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
DMX 5	<input type="text" value="2000"/>	<input type="text" value="23"/>	<input type="text" value="10"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
DMX 6	<input type="text" value="2000"/>	<input type="text" value="23"/>	<input type="text" value="10"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
DMX 7	<input type="text" value="2000"/>	<input type="text" value="23"/>	<input type="text" value="10"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
DMX 8	<input type="text" value="2000"/>	<input type="text" value="23"/>	<input type="text" value="10"/>	<input type="text" value="0"/>	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

Options:

Frame integrity mode
 ArtNet Subnet-Univ. mode
 ArtNet 4 support
 sACN Release
 KiNet v2
 SNMP enable

Advanced universe settings:

Port	Trigger/XFade univ. protocol	Trigger/XFade univ. number	Common Trigger/XFade control channel	Loop. univ. protocol	Loop. univ. number
DMX 1	Disabled ▼	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="512"/>	Disabled ▼	<input type="text" value="0"/>
DMX 2	Disabled ▼	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="512"/>	Disabled ▼	<input type="text" value="0"/>
DMX 3	Disabled ▼	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="512"/>	Disabled ▼	<input type="text" value="0"/>
DMX 4	Disabled ▼	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="512"/>	Disabled ▼	<input type="text" value="0"/>
DMX 5	Disabled ▼	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="512"/>	Disabled ▼	<input type="text" value="0"/>
DMX 6	Disabled ▼	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="512"/>	Disabled ▼	<input type="text" value="0"/>
DMX 7	Disabled ▼	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="512"/>	Disabled ▼	<input type="text" value="0"/>
DMX 8	Disabled ▼	<input type="text" value="0"/>	<input type="text" value="512"/>	Disabled ▼	<input type="text" value="0"/>

Scenes/Triggers:

	Input mode	Delay, msec	Action	Status
Scene/Trigger 1	Disabled ▼	<input type="text" value="0"/>	Capture scene	open
Scene/Trigger 2	Disabled ▼	<input type="text" value="0"/>	Capture scene	open
Scene 3	N/A ▼	N/A	Capture scene	-
Scene 4	N/A ▼	N/A	Capture scene	-

Save settings
Set default
Reset
www.sundrax.com

Pic.8 高度な設定

デバイスの詳細設定を編集するには、リンク **“Advanced”** をクリックします。

• **RDM devices** - DMXポートに接続されているRDM機器のリストです

Start discovery	接続されたデバイスの検索
Refresh report	検索を更新/検出されたデバイスのリスト

• **Advanced DMX settings** -DMX信号の高度な設定をします

Break duration,usec	88~1000 μ s
MaB duration,usec	4~1000 μ s
Data channels	1~512ch
Output frame period,msec	リフレッシュレートの設定
Output data timeout,sec	DMXストリームを停止するまでのタイムを設定
Output data offset	チャンネルシフト機能
Smart output	対応する信号が途切れた際に、最終DMX値を保持する場合は 無効 （クリア）を選択、“ Output data timeout,sec ”で設定した時間で停止する場合は 有効 （ <input checked="" type="checkbox"/> ）を選択
RDM enable	RDMのを有効/無効を選択
Terminator enable	各ポートのDMXラインのD+とD-の間の終端抵抗の有効/無効を選択

• **Options** - デバイスの機能を有効/無効にします

• **Advanced universe settings** - 各ユニバースの高度な機能の設定をします

Trigge/XFade unv.protoco(※)	XFade/Triggeをコントロールするユニバースのprotocolsを選択 (\rightarrow Disabled, ArtNet, sACN, KiNet)
Trigge/XFade unv.Number(※)	XFade/Triggerをコントロールするユニバースの番号を設定
Common Trigge/ XFade control channel(※)	XFade/Triggerをコントロールするチャンネルを設定
Loop. unv. Protocol	ループバックするユニバースprotocolsを選択 (\rightarrow Disabled, ArtNet, sACN, KiNet)
Loop. unv. Number	ループバックするユニバースの番号を設定

(※)リンクMain内のMode/mergingの項目で、**Out/ComTrigger, Out/ComXFade, Out/ChanXFade** を選択した際に必要な設定です

• **Scenes/Triggers** - トリガー入力のモードを設定します。 ※P.3トリガー入力を参照

Input mode	動作モードを選択 (\rightarrow Disabled, Trigger,N.O., Alarm,N.O., Trigger,N.C., Alarm,N.C.)
Delay, ms	ディレイタイムの設定
Action	“Capture scene” をクリックすると、すべてのDMXポートの現在の状態をシーンとして保存、トリガー起動時に呼び出すことができる
Status	入力の現在の状態を表示 (open、close、active、alarm)

詳細設定の変更内容を保存する場合は、“Save settings”をクリックします。

詳細設定の値を初期値に戻す場合は、“Set default”をクリックします。

詳細設定で保存されている値をリセットするには、“Reset”をクリックします。

Network -ネットワークの設定-

デバイスのネットワーク設定を編集するには、“Network”のリンクをクリックします。

The screenshot displays the 'ArtGate Pro' network settings interface. At the top, there are tabs for 'Main', 'Advanced', 'Network' (which is selected), 'Profiles', and 'Firmware'. Below the tabs, the following settings are visible:

- MAC address:** 00:02:8C:A6:1B:47
- Current parameters:** primary IP: 2.161.27.71 (static), primary mask: 255.0.0.0; secondary IP: 2.161.27.71
- Primary IP:** 2.161.27.71 (with an input field and a radio button for 'Auto (DHCP)')
- Primary mask (static):** 255.0.0.0 (with an input field)
- Gateway IP (static):** 0.0.0.0 (with an input field)
- ArtNet UDP port:** 6454 (with an input field)
- sACN UDP port:** 5568 (with an input field)
- Access login:** admin (with an input field)
- Access password:** (with a masked input field)

At the bottom of the settings area, there are three buttons: 'Save settings', 'Set default', and 'Reset'. The URL 'www.sundrax.com' is visible in the bottom right corner.

Pic.9 ネットワーク設定

- **MAC address** - デバイスのハードウェアアドレスとセカンダリの（固定）IPアドレスを表示します
- **Current Parameters** - デバイス現在のIPアドレスを表示します
- **Primary IP** - デバイスのプライマリーIPアドレスを設定します
 Auto (DHCP) IPアドレスの割り当てをDHCPで行う場合は選択
- **Primary mask (static)** - プライマリーサブネットのマスクを設定します

- **Gateway IP (static)** - ゲートウェイのネットワークアドレスを設定します
(インターネット経由での操作が必要な場合)
- **ArtNet UDP port** - ArtNet プロトコルの UDP ポートを設定します
- **sACN UDP port** - sACNプロトコルのUDPポートを設定します
- **Access login** - 機器のWebインターフェイスにアクセスするためのログイン名を設定
- **password** - 機器のWebインターフェイスにアクセスするためのパスワードを設定
パスワードが空の場合、認証は行われません

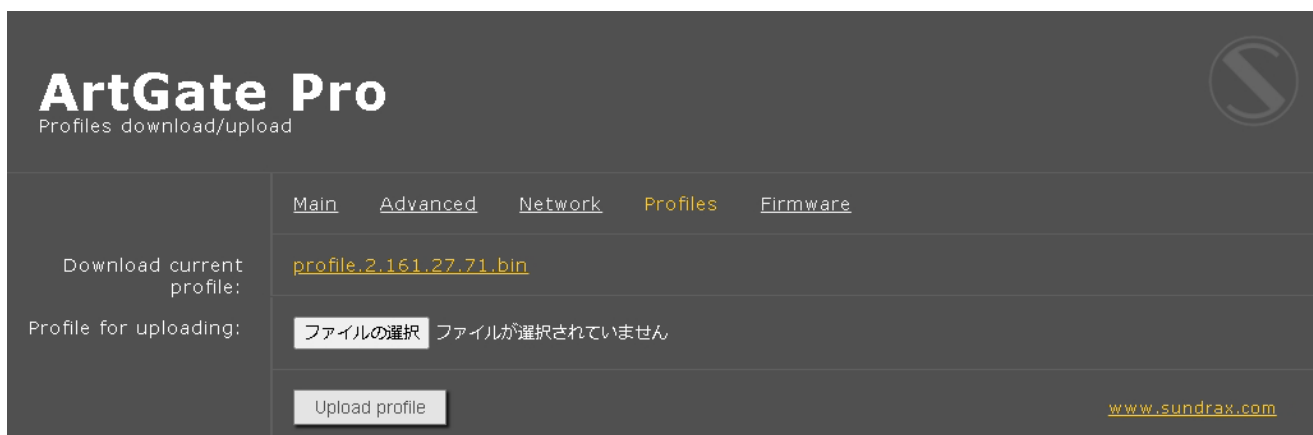
ネットワーク設定の変更内容を保存する場合は、“**Save settings**” をクリックします。

ネットワーク設定を初期値に戻す場合は、“**Set default**” をクリックします。

ネットワーク設定を現在の保存された値に戻すには、“**Reset**” をクリックします。

Profiles -プロフィール-

プロフィール操作については、“**Profiles**” のリンクをクリックしてください。

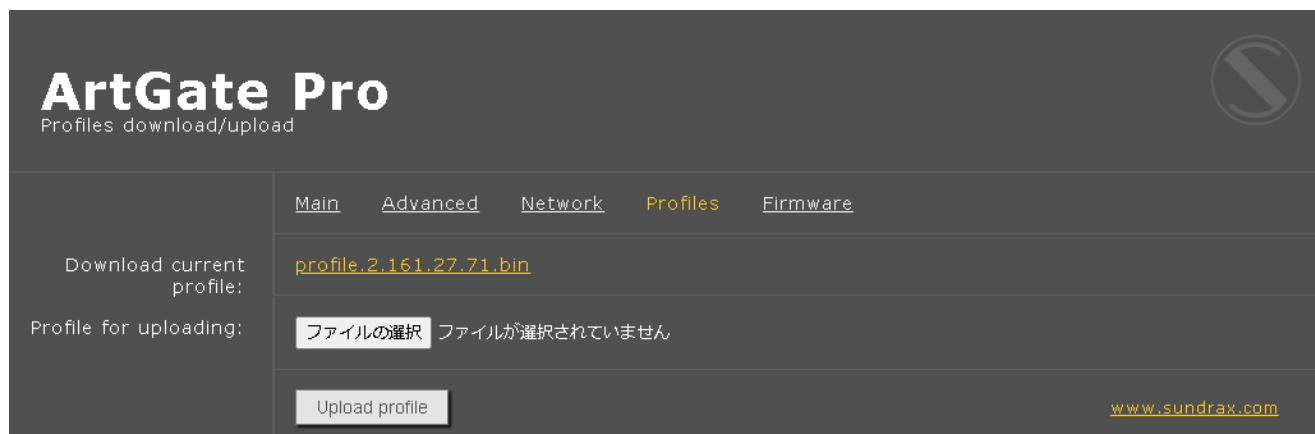


Pic.10 プロファイルの設定

- **Download current profile** - 現在の設定をファイルとしてダウンロードします
- **Profile for uploading** - 以前に保存したプロフィールのファイルを選択します
- **Upload profile** - 選択したプロフィールをデバイスにアップロードします

Firmware -ファームウェアの更新-

デバイスのファームウェアをアップデートするには、“Firmware”のリンクをクリックしてください。



Pic.11 ファームウェアのアップデート

- **Reboot** - デバイスの再起動ボタン
- **Current firmware** - 現在のファームウェアの名前とバージョン
- **New firmware file** - デバイスにアップロードするファームウェアファイルを選択します
- **Update firmware** - 選択したファームウェアファイルをアップロードします。

ソフトウェアアップデートのダウンロード後、“Reboot”ボタンをクリックしてアップデートを承認してください。

PleAse Note

他の第三者のファイルを選択してアップロードすると、デバイスの誤動作を引き起こす可能性があります。

テクニカルメンテナンス

本機のメンテナンス、トラブルシューティングはサービス担当者が行います。

日常点検時には、本機に汚れやこみがなく、接続ケーブルとワイヤに損傷がなく、しっかりと固定されていることを確認してください。

仕様

DMX512port	4または8 port
コネクタ	XLRsオス x2 + XLRsメス x 4 or 8 RJ45/EtherCon x2, terminal block
対応プロトコル	DMX512, RDM (E1.20) , ArtNet (I,II,III,IV), sACN (E1.31, draft and release), KiNet (v1 and v2), RTTrPL、HTTPなど
DMXリフレッシュレート	デフォルトは44Hz、必要に応じて変更可能
I/Oコネクタ	4Pterminal block
最大消費電力	5A
電源	AC90~250V, 50/60Hz または Power-over-Ethernet 802.15f mode A, B
設定方法	Webインターフェイス
動作温度	0~+60°C
動作相対湿度 (最大)	95%
IP規格	IP 20
サイズ・重量	482mm×44mm×110mm (EIA 1U)・1.2kg

本製品及び本書の内容は予告なしに変更される事がありますのでご了承ください。

(本書製作日2021年6月30日)



Sundrax Electronics, 6008, First Central
200
2 Lakeside Drive, Park Royal, London
NW10 7FQ United Kingdom
+ 44 (0) 208 991 33 19
office@sundrax.com
www.sundrax.com

TTL TamaTechLab.

TEL:+81-3-3760-7201

FAX:+81-3-3760-7203

<http://www.tamatech.co.jp/>